

どらいあんぐる菅生

発行：菅生中学校区地域教育会議
編集：広報委員会
当番校：菅生小学校 TEL 977-0914
事務局：コミュニティサポートネット内
TEL 979-1303 FAX 979-1302
csn@ha.bekkoame.ne.jp

http://www.linkclub.or.jp/~sugaochi E-mail:sugaochi@air.linkclub.or.jp

再生委員会

21世紀の地域教育会議をめざして

夏休みがあって、再生委員会も久しぶりにスタート。9月21日、第9回目には12名の参加があった。郡司校長は「学校はPTAや子どもたちの意見を聞きながら教育の取組みや情報開示などを行なっている。学校のことに対して疑問があれば、私が地域教育会議の委員会などに出て学校の考えを説明したり、一緒に考えたりできるのでは。地域教育会議では、例えば学校週5日制の時点で子どもたちの受け皿などを具体的に考える場ではないか。学校運営などに関しては、来年度から始まる学校教育推進会議で発言できるので、学校の人事権まで含めて話し合う工藤議長の提案には賛成しかねる」と、校長としての難しい立場を主張。これに対し、工藤議長は「地域教育会議はこれまで学校に対してはアウトラインの整備、つまりお手伝いの存在だった。そういうスタンスを変えようということで、あえて5つの提案を出した。人事権がわれわれにないのは当然。住民として、親権者として学校と対等に話し合う場にできるのかどうかということ。学校の問題に限らず、親の問題、地域の問題も含めて、タブーをつくらず話し合いたい」と話した。

10回目は10月26日、15名の参加で行なわれた。工藤議長の「具体的な教育の問題を話し合うときに、それが慣習の問題であれば変えられるし、制度上の問題であれば研究して提言することもできる。そういう意味でタブーをつくらず話し合うことが必要だ。執行はできないが、研究はできるはず」という意見に対し、黒澤校長は「理想論として話すことはできるが、適正を欠く教員の処遇を含めた形では話し合うことはできない」と主張。また、ある委員は、子どもがクラス中の子にいじめられていたことを、子どもが大人になってから知った。親として、PTA活動も積極的にかかわり、先生たちを応援もしてきたが、結局自分の子どものことも気づかなかつた。肝心なことが何もできてこなかった。そうしたことを変えていこうというときに、話し合っ



め決められることはかえって怖いと話した。

11回目は、これまで話し合いを続けてきたが結論には至らず、地域教育会議の権限については、教育委員会生涯学習課の夏井氏、地域教育会議創設の理念を当時の教育長であった岩淵氏を招き話しを伺った。結局、地域教育会議では人事・カリキュラムについてはタッチできないが、教員の資質について話し合うことは可であることが明確となった。

これで、工藤議長の5つの提案を地域教育会議で取り扱うことは可能となったが、地域教育会議はあくまでも学校を糾弾したり、対立するような立場ではないので、今後、さらに細かい調整のための再生委員会は続くと思われる。

パネルディスカッションのお知らせ 生涯学習委員会主催

開かれた学校 その限界と可能性

いま、子どもたちを取り巻く大人・学校・地域の大きな変革が求められています。しかし、一歩踏み出そうとすると、多くの困難にぶつかります。開かれた学校のめざす方向と、具体性、その眼界をさまざまな立場から述べていただき、「開かれた学校」めざしてどうすればよいかを話し合います。

コーディネーター
東京大学教育行政学教授
小川 正人氏
パネラー
教育ジャーナリスト
豊田 充氏
川崎市教育委員会
(未定)
学校長
(未定)

どなたでも自由に参加できます！

2002年2月2日(土) PM2:00~5:00 菅生分館学習室

コミュニティ&コミュニケーション 榊原小学校の巻
コミコミスクール

川崎市立の学校では、11月20日の「かわさき子どもの権利の日」を記念し、「子どもの権利に関する週間」として、権利学習と学校の公開を行いました。

榊原小学校では、子どもたちが主体的に活動するようすを保護者や地域の方々に見てもらい、子どもの権利についての関心を深めてもらおうと、11月19日、20日の2日間を学校公開しました。その一部を紹介します。

コミコミスクール見学記

「子どもの権利条約」から一人ひとりもつ権利を尊重することを知ろう

(6年生のクラスから)

子どもの権利条約の中から「差別的禁止」「意見を表す権利」「表現の自由」「プライバシー、名誉は守られる権利」「障害を持つ子どもの権利」「教育を受ける権利」「教育の目的」「麻薬、覚せい剤などからの保護」「戦争からの保護」をとりあげ、子ども達の意見を聞くという形で授業が行われた。

「差別的禁止」に対しては、「子どもだけではなく、大人も同じじゃないの?」「一人一人違っていい」「差別されると心に傷がつく」という意見が出され、また、「意見を表す権利」に対しては、「意見を言うことによって地球が守られなくなる」「意見を言う事は大事だ」と、「プライバシー名誉は守られる権利」の場合は、「子どもにだって、知られたくないことや見られたくないことや誇りもある」などの活発な意見が出た。

驚いたのは、麻薬、覚せい剤の恐さをとりあげる児童が多かったことだ。「戦争からの保護」に対しては、アフガニスタンの子ども達を心配する意見もでた。授業の終わりに、先生から「自分のことだけでなく、大人も含めみんなのこととして考えよう」、「自分の権利を大事にするなら、他人の権利も大事にしよう」という提案があった。

結論、こういったことをうやむやにしたつければ子どもが引きずっていくことになる。教育者としても親や住民としても、子どもへの責任を自ら問わなければならない。議長の言う通り、まずは大人改革すること



コミコミスクール見学記

ふだん気にしないで呼んでいる友だちの呼び方をもう一度考える
 (4年生のクラスから)

「名前の呼び方」を考えようというテーマで話し合いが始まった。

先生から子どもたちへの「自分の名前は好きですか?」という身近な問いかけや、名前の由来などを参観した保護者から話してもらい、子どもたちは、自分の理想とする名前や、心地よい呼ばれ方、不愉快な呼ばれ方などを考えながら、「やっぱり、親がつけてくれた名前だから大事にしよう」という意見が出された。

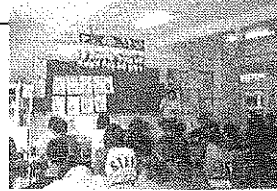
ふだん、何気なく通り過ぎてしまう「名前」の呼び方・呼ばれ方について、立ち止まって考えようという授業の中で、繰り返し聞こえてきたのが、呼ばれてイヤな思いをしたときは「イヤだ」と伝えることだった。授業では、人の名前には親の想いが込められ、それぞれ意味があることを子どもたちに伝えようとするものだった。

「自分の名前をからかわれ、イヤな思いをしている人がいっぱいいたのがわかった。いろんな人の名前の言い方があったけど、侮辱してはいけないと思った」と、ある子どもは感想を話していた。

子どもたちと共に考えた時間、どの子どもも集中し、楽しい授業参観だった。

かわさき子どもの権利の日

たくさんの人に、子どもの権利を理解してもらうため、国連で「子どもの権利条約」が決まった日、11月20日を「かわさき子どもの権利の日」にしました。この日の前後に、いろいろな集会や行事がおこなわれます。「かわさき子どもの権利条例」子ども版より)



- 〇いじめにあって、とても悲しい経験をしました
 (安心して生きる権利)
 〇自分に自信をもって生きたい
 (ありのままの自分でいる権利)
 〇幸せに生き生きと暮らしていきたい
 (自分を守り、守られる権利)
 〇好きな活動で知り合った仲間
 は最高だ(自分を豊かにし、
 カブけられる権利)
 〇自分のことは自分が一番知っている
 (自分で決める権利)

名前の呼び方も考えよう 4年3組 学級通信より

「自分の名前をつけてくれた、お父さんやお母さんはどんな想いでみんなの名前を考えてくれたのか、知ってますか?」
 「僕、知ってるよ。なんかか、昔の偉い人の名前と同じなんだって。その人、暗殺されたって言ってたよ。」
 「う〜ん。だれだろう?」
 『大尉 毅』の名前がでてきました。中塚 毅さんです。
 ちょうど、参観にきていただいたお家の方々の助けをかりて、どんな想いで、名前をつけたのかをお聞きすることができました。

- 佐藤 直哉さん 真っ直ぐに育ってほしい
 中川 誠一さん 誠実、誠意という意味
 渡辺 美穂さん 六月生まれなので、稲穂のように豊かに健やかに
 大木 智裕さん 物・心両面に恵まれて豊かな人になってほしい
 吉岡 和真さん お兄さんなので、ひっぱっていくような人に

「なるほど!なるほど!熱い想いがいっぱいだね。一人ひとり大切な名前ですね。でもね、先生は前からちょっと気になっているんだけど、友だち同士でよぶとき、ちょっと、どうかなあと思うことがよくありますよ。今日は、みんなて、名前の呼び方について考えてみましょう。」
 こんなふうにして、みんなて意見を出し合っていました。
 その人にとって、「嫌だなあ」と思う呼ばれ方もたくさんあったようで、たくさん手が挙りました。
 呼ばれ方によって、気持ちよく過ごせたり、嫌な気分になったりする、ということも、お互いに確認し合うことができました。
 「もし、呼ばれ方が嫌だなあと思うときは、相手にはっきりと気持ちを伝えようがいいね。」
 「親しき仲にも礼儀あり」大切な名前、大切な仲間、これからはますます仲良くなるためにも、みんなて気をつけていきましょう。

受賞 ふるさと 手づくり郷土賞

飛森谷戸の自然を守る会

菅生の身近な自然として知られる「飛森谷戸の自然を守る会」が、このほど国土交通省の「手づくり郷土賞(手づくり郷土賞関東地方運営委員会主催)」を受けました。

「手づくり郷土賞」は、地域の個性・魅力を創出している良質な社会資本を発掘し、これからの地域づくりに役立てようとするものです。

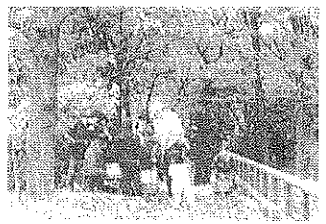
地域の自然をコアとしたコミュニティづくりを図る



森の中で遊ぶ

この会は自然環境の学習の場として、雑木林の再生と生活環境との共存を目指し、地域コミュニティを創造することを目的に、雑木林や川の手入れと管理などを行っています。会員は60名、延べ参加者は年間1000名に及び、「炭焼き」や「木の楽習会」など、各種の自然観察会を開催しているほか、地域の小学校に呼びかけ、野外学習なども行っています。

他地域との交流も盛んに行っており、群馬県片品村で尾瀬交流ツアーを実施したり、宮前区の交流都市である長野県佐久市での間伐森づくりに参加するなど、幅広い活動を展開しています。
 (飛森谷戸の自然を守る会の紹介文より)



自然観察会で雑木林の成り立ちの話を聞く子どもたち

お知らせコーナー

●菅生小学校 TEL977-0914

- ☆書初め展 1/24 (木) ~1/30 (水)
- ☆大クリーン作戦 2/16 (土)
地域のゴミ・空缶ひろいを全校で
- ☆卒業式 3/19 (火)

●稗原小学校 TEL976-4557

- ☆土曜授業参観 2/2 (土)
- ☆卒業式 3/19 (火)

●菅生中学校 TEL 977-8787

- ☆百人一首大会 1/10 (木)
- ☆授業公開週間 (1・2年) 1/28 (月) ~2/2 (土)
- ☆小学生との交流会 2/22 (金)
- ☆卒業式 3/8 (金)

●宮前市民館菅生分館 TEL977-4781

- ☆地域セミナー受講生募集
『平瀬川から子どもの遊び場を考えよう』
~水沢(源流)から神木町(森林公園)まで~
2/6 (水) ~3/27 (水) 全8回 10:00~12:00
受付 1/30 (水) 無料 保育(0歳~就学前幼児10名)
- ☆冬の成人学校受講生募集
『社会人のためのマナー講座』
1/13 (日) ~3/24 (日) 全10回 14:00~16:00
4000円 市内在住・在勤・在学の15歳以上の方30名
受付 1/6 (日) 14:00 菅生分館で



●菅生こども文化センター TEL976-0444

- ☆お休み 12/29 (土) ~1/3 (木)
- ☆カレンダーづくり 12/21 (金) 14:00~15:30
定員20名 50円 申込み制
- ☆本の貸し出し 毎週水曜日 14:00~15:30
(12/26、1/2はお休み)

●蔵敷こども文化センター TEL977-2577

- ☆ぞうさん文庫 毎週水曜日(3/27はお休み)
14:00~15:30
- ☆わいわいくらぶ(集団遊び、おやつ作り、工作など)
1/16 (水) ~3/6 (水) 全8回 15:00~17:00
小1~小4 (30名) 参加費 1500円 保険代 170円
※詳しくはセンター便り1月号で
- ☆子ども映画会『ディズニー』1/9 (水) 15:00~16:30
だがしやさん 14:30~15:00
※子ども映画会2/13 (水) 3/13 (水) 内容は未定
- ☆おやつづくり1/19 (土) 『焼きそば寿司』14:00~16:00
30名程度 参加費 200円
申込受付 1/19 → 1/9 (水) 10:00~ (2/16は未定)
- ☆地域交流事業『おもちつき』1/26 (土) 11:00~13:00
100名程度 参加費 無料 申込受付 1/9 (水) 10:00~
- ☆川崎市ミニホッケー大会2/3 (日) 10:00~16:00
等々力アリーナ 申込み制
- ☆人形劇公演2/23 (土) 10:30~11:30
先着100名(整理券発行) 無料

ほつとコーナー



明治も江戸も遠くになりけり

アメリカの中学校の先生が、自分が教えた生徒たちに流したメールから・・・
(10月27日の朝日新聞『天声人語』より要約)

世界を100人の村に縮小すると
「アジア人が57人、ヨーロッパ人が21人、南北アメリカ人が14人、アフリカ人が8人」
「有色人種は70人、白色が30人。30人がキリスト教で、70人はそれ以外」
「89人が異性愛者、11人が同性愛者」
「6人(すべてアメリカ国籍)が全世界の富の59%を所有」
「80人が標準以下の居住環境に住み、50人は栄養失調に苦しみ、1人が瀕死の状態にあり、1人は生まれようとしている」
「たった1人が大学の教育を受け、たった1人がコンピューターを所有している」
「もし冷蔵庫に食料があり、着る服があり、頭の上に屋根があり、寝る場所があるのなら、あなたは世界の75%の人たちより恵まれています」
豊かな国に住んでいる私たち2人の日本人は、ほかの98人のことも無関心ではられない。

私の母は明治45年3月生まれの90歳ですが、私が小さいころから、母は「自分の父親は“文久3年”生まれ」と何度も言っていました。明治維新の5年前です。私は母が39歳のときに生まれ、現在51歳ですが、祖父が江戸生まれということなんです。父方の祖母は97歳で、昭和49年に亡くなりましたが、明治10年生まれでした。父親が“西南の役(西郷隆盛との戦争)”に行っている間に生まれたと、よく言っていました。祖母の父親は広島芸州藩で参勤交代で江戸に何度も行ったそうです。ちなみに、お殿様の風呂たきだったそうです。祖母の夫、私の祖父は日清戦争のとき、ラッパ吹きで参戦し、日露戦争も予備役で行ったそうです。皆さんも自分のルーツをたどれば、明治、江戸はすぐそこにあるかもしれませんよ。(K.M)